

## 第3学年2組 算数科学習指導案

令和3年9月16日(木) 第4時限

1 単元 あまりのあるわり算 (本時 2/8)

2 本時の目標

- ・余りは、いつもわる数より小さくなることを理解する。(知識・技能)

3 展開

段階	児童の活動	教師の活動
導入 (10)	<p>1 問題を把握し、学習課題を立てる。</p> <p>4 人ずつの組になってダンスをします。人数が19人のとき、何組できて何人あまりますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ひなたさんは、<math>19 \div 4 = 3</math> あまり 7 で3組できて7人あまると言っています。</li> <li>・だいちは、<math>19 \div 4 = 4</math> あまり 3 で、4組できて3人あまると言っています。</li> <li>・2人のあまりの人数がちがいます。</li> <li>・4人ずつの組になるのに7人もあまっているのかな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題を1文ずつ提示する。</li> <li>・4人組でダンスをしている絵を黒板に貼り、視覚的にも問題を把握できるようにする。</li> <li>・解き方の見通しが立つように「問題を解くために何が必要な」と問う。</li> <li>・数図ブロックを操作してひなたさんとだいちさんの問題を理解しやすくする。</li> <li>・数図ブロックの操作から <math>19 \div 4</math> は、割り切れず、あまりが出ることを確認する。</li> <li>・あまりの大きさについて児童の発言の言葉を生かして本時の学習課題につなげていく。</li> </ul>
課題 (2)	<p>2 本時の学習課題を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px auto; width: 80%;">                 わる数とあまりの大きさについて調べたい。             </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題を板書する。</li> </ul>
展開 (28)	<p>3 人数が20人、21人、22人…のとき、できる組の数と余る人数を調べる。</p> <p style="text-align: center;"> <math>19 \div 4 = 4</math> あまり 3  <math>20 \div 4 = 5</math>  <math>21 \div 4 = 5</math> あまり 1  <math>22 \div 4 = 5</math> あまり 2  <math>23 \div 4 = 5</math> あまり 3  <math>24 \div 4 = 6</math> </p> <p>4 <u>あまりの大きさについて気づいたことを書く(丸自)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・縦に並べて計算したワークシートや板書を見て気づいたことを書く。</li> <li>・あまりが1,2,3の順番になっているよ。</li> <li>・あまりは、1,2,3の次4はないのかな？</li> <li>・あまりがわる数よりも小さくなっているよ。</li> <li>・<math>20 \div 4</math> と <math>24 \div 4</math> の時は、あまりがないよ。</li> </ul> <p>5 <math>41 \div 8 = 4</math> あまり 9 は正しいかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・正しくない</li> <li>・その理由は、あまりがわる数よりも小さくならなければいけないのに、大きくなっているから。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発問「人数が20人、21人、22人…のとき、できる組の数と余る人数を調べよう。」</li> <li>・縦に並べた計算式のワークシートを配る。</li> <li>・机間指導し、計算に支援が必要な児童に助言をする。</li> </ul>
終末 (5)	<p>6 <u>あまりのあるわり算をするときに気をつけることを書く。(花丸自)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あまりのあるわり算をするときは、あまりがわる数より小さいかどうか確認する。</li> <li>・あまりは、わる数よりも小さくする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発問「<u>あまりの大きさについて気づいたことを書こう</u>」</li> <li>・「わる数」に注目した意見が出ない場合は、「わる数」「わられる数」「あまり」と書かれたカードを貼る。</li> <li>・あまりは、1,2,3 になっていて、いつもわる数より小さくなっていることをまとめて確認し、わり算であまりが出たときは、わる数よりも小さくなることを確認することを伝える。</li> <li>・発問「<math>41 \div 8 = 4</math> あまり 9 は、正しいかどうか考えよう」</li> <li>・「わる数」に注目した理由が書けるようにするために、「わる数」「わられる数」「あまり」と書かれたカードを数字の上に貼る。</li> <li>・発問「<u>あまりのあるわり算をするときに気をつけることは何ですか</u>」</li> <li>・「あまり」と「わる数」の2つの言葉に注目するように、2つの言葉を黄色で囲む。</li> <li>・机間指導をし、児童の記述を把握して、意図的指名に生かす。</li> <li>・板書の言葉を使ってあまりの大きさについて説明できた児童を称賛する</li> </ul>

4 評価

- ・わる数とあまりの大きさの関係をとらえることができたか。

(活動3, 4, 5, 6の発言や活動3, 4, 5, 6のノートの記述から)